

2024 年度 第 1 回 一般社団法人 日本地球化学会理事会 議事録

日時 2024 年 8 月 28 日 (水) 13:00-15:40

場所 zoom による web 開催

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/85872975657?pwd=3b48kTkafwVa3ZEbvO5sQjRBZxYQak.1>

出席者 高橋 嘉夫, 南 雅代, 横山 哲也, 飯塚 理子, 板井 啓明, 上野 雄一郎, 太田 充恒, 小川 奈々子, 黒田 潤一郎, 癸生川 陽子, 小木曾 哲, 瀬戸 繭美, 橘 省吾, 角皆 潤, 古川 善博, 堀 真子, 山口 瑛子, 山本 順司, 若木 重行, 川幡 穂高 (監事), 吉田 尚弘 (監事)

欠席者 小畑 元, 白井 厚太郎, 平田 岳史, 丸岡 照幸

オブザーバ 鈴木 勝彦, 田中 万也, 豊田 栄, 福士 圭介

1. 審議事項

1.1 2024 年度年会について

若木企画幹事および福士会員より, 2024 年度年会について, プログラムやスケジュールなどの説明があった. 学生発表賞の審査方法については継続して検討することとなった. また, 若木企画幹事より 2023 年度年会の会計報告があったが, 懇親会を別とした会計報告を作成し次回の理事会で確認することとなった. ショートコース講師については原則会員または年会開催地に在住の方に依頼し, 交通費は支給しないことが確認された.

1.2 2025 年度年会について

若木企画幹事より, 東北大学川内キャンパスで実施することが提案され, 承認された.

1.3 2026 年度年会について

若木企画幹事より, 年会開催地の公募を行ったが申込がなかったことが報告された. 高橋会長より, 現状は京都大学と交渉中であることが報告された.

1.4 定時総会について

板井総務幹事より, 総会の案内やスケジュールについて説明があった.

1.5 2023 年度 事業報告, 決算・監査報告 (総会の第 1 号, 第 2 号議案)

山口庶務幹事および豊田会計幹事より, 2023 年度事業報告案および決算案, 監査報告書について説明があり, 承認された.

1.6 2024 年度 事業計画案, 予算案

山口庶務幹事および豊田会計幹事より、2024 年度事業計画案および予算案について説明があった。

1.7 夜間集会プログラム

横山副会長より、夜間集会プログラムについて説明があった。

1.8 2025 年の年会でのセッションについて

山口庶務幹事より、年会のセッション再編に関して理事に実施したアンケートの結果について説明があった。

1.9 GJ の今後の方針について

鈴木 GJ 編集委員長より APC や Impact letters の創設、国際的プレゼンスの向上のための施策など、GJ の今後の方針について説明があった。

1.10 和文誌「地球化学」の投稿規程改定について

田中地球化学編集委員長より、和文誌「地球化学」の総説における図表作成に関して投稿規程を変更する提案があり、承認された。

1.11 会員の会期問題

太田会員幹事より、会員の会期問題を解決するために会員及び会費規程を改訂することについて提案があり、承認された。

1.12 賛助会員の募集について

高橋会長より、JpGU においてブース回りをした企業に賛助会員募集の案内を送付したこと、JASIS に参加して賛助会員募集の案内を行うことが説明された。

1.13 寄付者リストの公表について

豊田会計幹事より、寄付者リストの公開方法について提案があり、本人の承諾を得た上で和文誌「地球化学」のニュース欄にて氏名のみを記載する方法が承認された。

1.14 2023 年若手スタートアップ奨励金について

山口庶務幹事より、若手スタートアップ奨励金について申し合わせと申請書を改訂する必要があることの説明があったが、時間の関係上継続審議となった。

1.15 IAGC などとの MOU について

高橋会長より、Goldschmidt 会議 2024 の会期中に国際地球化学連合 (International

Association of GeoChemistry ; IAGC)と MOU を締結したことが説明された。また、European Association of Geoscientists and Engineers (EAGE) とミーティングを行い、今後 MOU の締結について議論を進めていくことが説明された。

1.16 文部科学省大臣表彰の推薦基準について

高橋会長より、文部科学省大臣表彰の推薦基準を整備することの提案があったが、時間の関係上継続審議となった。

1.17 理事会の予定について

山口庶務幹事より、今後の理事会の予定について議題の整理が行われたが、時間の関係上継続審議となった。

1.18 JpGU の委員について

JpGU プログラム委員会の若木委員より、JpGU2024 学協会セッション共催について報告があった。また、次年度のプログラム委員について推薦があり、承認された。山口庶務幹事より、JpGU ダイバーシティ推進委員と JpGU 教育検討委員についても説明があった。

1.19 その他

山口庶務幹事より、若手会の支援について今後議論を行っていく必要があることが報告された。

2. 報告事項

2.1 会長

高橋会長より、協賛企業の加入や科研費増額要望書署名への参加、Goldschmidt 会議 2024 について報告があった。

2.2 地球化学編集委員長

田中地球化学編集委員長より、和文誌「地球化学」の編集状況などについて報告があった。

2.3 GJ 編集委員長

鈴木 GJ 編集委員長より、英文誌「Geochemical Journal」の編集状況などについて報告があった。

2.4 企画幹事

若木企画幹事より、2024 年度金沢大会のショートコースの講師や内容について報告があった。

2.6 広報幹事

山本広報幹事より、ウェブサイト更新やニュース記事、JpGU および Goldschmidt 国際会議の対応等について報告があった。

2.7 会員幹事

太田会員幹事より、会勢報告および 50 年会員表彰、名誉会員を囲む会、女性会員比率について報告があった。

2.8 会計幹事

豊田会計幹事より、監査や金額の大きな出納案件について報告があった。

2.9 国際幹事

上野国際幹事より、Goldschmidt 会議 2024 や Goldschmidt 会議の日本招致、日中シンポジウム、日台交流について報告があった。

2.10 庶務幹事

山口庶務幹事より、2023 年度に実施したメール審議の内容や委嘱状の発行、契約の締結、授賞関連の発注、鳥居井上基金の報告、山田科学財団の採択結果、協賛・共催・後援、今後の予定について報告があった。

以上の議事を終え、15時40分に閉会した。